

WEB予約診療科拡充のご案内(医系初診予約案内)

医系個人初診予約に関して、WEBで予約可能な診療科を拡充しました。
WEB予約の方法は以下のとおりです。

拡充された診療科	眼科、形成・美容外科、血液内科、呼吸器内科、小児科、食道外科、 心臓血管外科、脳神経内科、泌尿器科、皮膚科、末梢血管外科
WEB予約の方法	QR読み取り機能がある方はこちら URL : https://patient.yakubato.jp/initial_appointments/tmd ※ご利用にはメールアドレスが必要です。 ※患者さんからの予約が対象です。
受付時間	24時間 365日
予約可能日	申込日から3診療日以降
対象診療科 (五十音順)	胃外科、肝胆膵外科、眼科、形成・美容外科、血液内科、血管内治療科、膠原病・リウマチ内科、呼吸器外科、呼吸器内科、再建形成外科、耳鼻咽喉科、循環器内科、消化器内科、小児科、小児外科、食道外科、心臓血管外科、腎臓内科、総合診療科、大腸肛門外科、頭頸部外科、糖尿病・内分泌・代謝内科、乳腺外科、脳神経外科、脳神経内科、泌尿器科、皮膚科、放射線治療科、末梢血管外科



従来通りの電話予約も受付けています

受付時間	平日 11:00 ~ 16:00 (土日祝日・年末年始を除く)
予約可能日	14時までのお電話で翌診療日 (予約状況等によってはご案内が難しい場合があります)
電話番号	03-5803-4655



初診
予約時の
お願い

- 初診手続きのため、ご予約時間の45分前までに来院ください。
- 受診日に紹介状をご持参ください。持参されない場合、選定療養費(8,250円(税込))をご負担いただきます。また、当日の受診ができない場合もあります。
- 同日に複数の診療科の予約は取得できません。複数診療科の予約希望の場合は別の日に予約を取得してください。
- 他診療科の再診で予約を取得している日には予約できません。
- 当日持参された紹介状に医師の指定があった場合、希望医師ではない医師での診察になる可能性があります。

医療連携だより

vol.36

東京科学大学病院 医療連携支援センター長(病院長補佐)

田村 郁(たむら かおる)

令和6年10月1日、東京工業大学との大学統合により、東京医科歯科大学病院は「東京科学大学病院(Institute of Science Tokyo Hospital)」に生まれ変わりました。医学、歯学、そして理工学の融合によって、これまで以上に高いレベルの医療を提供し、人々の健康と幸せに貢献してまいります。10月10日には食道外科と皮膚科、10月15日には、心臓血管外科と膠原病リウマチ内科のWEB講演会を開催致しました。ご多忙の中、ご参加いただきました医療機関の皆様へ深く感謝申し上げます。本年度は、令和7年1月と2月にさらに4診療科のWEB講演会を、2月12日に医療連携会を予定しております。今後もオンラインと対面の利点を活かしながら、WEB講演会や医療連携会等を通じて当院の最新医療情報をお伝えし、皆様方と意見交換をしていきたいと思っております。引き続き皆様からのご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



WEB講演会の要旨紹介

「食道外科、皮膚科WEB講演会」(10/10)

「心臓血管外科、膠原病・リウマチ内科WEB講演会」(10/15)

2025年 WEB講演会開催通知

「総合診療科、放射線治療科」(1/29)

「小児科、小児外科、小児ハートチーム」(2/18)

診療科紹介

肝胆膵外科、小児科、乳腺外科

Information2

WEB予約診療科拡充のご案内



Information1

「病院案内(パンフレット) 2024-2025」が完成!

病院案内(パンフレット)には東京科学大学病院の全診療科・診療部・センターなど患者さんとの関連が深いおもな部署を紹介しています。同封の「チラシ」をご覧ください。ぜひ二次元コードよりPDFをダウンロードしてご利用ください。



「ハートチーム(パンフレット)」が完成!

小児ハートチームは、先天性心疾患をはじめとした小児期の心臓血管疾患に対する治療を担当しています。新生児から成人期までのあらゆる病変に対応すべく体制を整備しています。詳しくは同封の「小児ハートチーム」パンフレットをご覧ください。



理念

世界最高水準のトータル・ヘルスケアを提供し、人々の幸せに貢献する

基本方針

1. 患者中心の安全、良質な全人的医療を提供する
2. 人間性豊かな医療人を育成する
3. 高度先進医療を開発、実践する
4. 社会に開かれた病院として、人々の信頼に応える
5. 力を合わせて患者さんと仲間たちを守る



財団法人日本医療評価機構
認定病院



10月10日開催「**食道外科、皮膚科**」

10月15日開催「**心臓血管外科、膠原病・リウマチ内科**」

WEB
講演会

医療連携支援センターでは2024年10月10日に「食道外科、皮膚科WEB講演会」
10月15日に「心臓血管外科、膠原病・リウマチ内科WEB講演会」を開催しました。
たくさんの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。ここでは講演の要旨をご紹介します。

食道外科

食道癌はいまや治せる時代です！

講師 藤原 尚志

かつては難治癌とされた食道癌ですが、治療開発により長期生存例も確実に増加しております。生存率が向上するに伴い、手術により生じる機能の喪失が問題となっています。(経口摂取量の低下、胃食道逆流、ダンピング症候群など)
当科の食道癌手術では最新のロボット支援での胸腔鏡・腹腔鏡手術を標準術式として治療の低侵襲化を図りつつ、同時に機能性を担保した独自の再建術式を積極的に導入して、癌を治すことと後遺症を最小限に留めることの両立を目指しております。

心臓血管外科

未来の心臓治療 移植からロボット手術まで

教授 藤田 知之

弁膜症や狭心症、心筋梗塞などの心臓病は、生命を脅かす危険性が高く、手術を受けるとなると「大きな手術で不安だ」と感じられる方も多くいらっしゃいます。最近では、こうした患者さんの不安を軽減するために新しい手術方法が導入されています。例えば、切らずに治療を行う「TAVI」や、小さな傷で手術を行う「ロボット支援心臓手術」、心臓を止めずに行う「オフポンプ冠動脈バイパス術」などがあります。一方で、最重症の重篤な患者さんには人工心臓治療も提供しており、さらに将来的には「心臓移植」実施施設を目指しています。

皮膚科

皮膚の血管炎・膠原病・水疱症、発汗異常

教授 沖山 奈緒子

皮膚科は、皮膚という「人体最大の臓器」を対象とした診療科です。当科で特にご紹介が多いのは、発汗異常やアレルギー疾患ですが、本講演では、診断に難渋することが多い血管炎・血管障害をご紹介します。具体的には、IgA血管炎などの毛細血管の血管炎から、結節性多発動脈炎(皮膚動脈炎)などの中・小動脈の壊死性血管炎、うっ滞性皮膚炎・潰瘍を含み、説明いたしました。
さらに当科の特色として、膠原病や腫瘍について診断・治療に取り組んでおります。皮膚に目で見ても、「これ何だろう?」と思うような症状がありましたら、ぜひ当科にご紹介ください。

膠原病・リウマチ内科

膠原病診療における病診連携

教授 保田 晋助 助教 佐々木 広和

「膠原病診療における病診連携」というテーマで、東京科学大学病院膠原病・リウマチ内科における膠原病診療についてご紹介いたしました。関節痛、筋痛、発熱、間質性肺炎、腎炎、皮疹は膠原病を疑う症状ですので、これらの症状が見られる場合は、遠慮なく当科にご紹介いただければと思います。確定診断がつき、治療によって病状が安定した患者さんにつきましては、地域の医療機関の皆様と連携し、一般内科・膠原病管理を進めてまいりたいと考えております。



2025年1月&2月WEB講演会お申込み受付中!

1/29(水) 18時~19時 総合診療科、放射線治療科

2/18(火) 18時~19時 小児科、小児外科、小児ハートチーム

2025年1月、2月も上記のとおりWEB講演会を開催いたします。

質疑応答の時間も設けております。途中参加・途中退席も可能です。是非、お気軽にご参加ください。

参加を希望される場合には右記二次元コード、もしくはURLよりウェビナーへの事前登録をお願いいたします。

1月29日(水)「総合診療科、放射線治療科」

URL : https://zoom.us/webinar/register/WN_TtxmnySBTdGMoBRTzTiklg



2月18日(火)「小児科、小児外科、小児ハートチーム」

URL : https://zoom.us/webinar/register/WN_z3NQyjZBQm6d9hctrK3NYg



診療科紹介

肝胆膵外科、小児科、乳腺外科

肝胆膵外科、小児科、乳腺外科に新任教授が着任しましたので、今後の抱負や診療科の特色について伺いました。



肝胆膵外科

伴 大輔先生

2024年10月より肝胆膵外科教授に就任いたしました伴 大輔と申します。肝胆膵外科領域の悪性腫瘍は難治性癌が多く、手術についても患者さんの負担が大きいという印象があるかもしれません。しかしながら、この10年での進歩は目覚ましく、治療成績は大きく向上しています。特に膵がんの切除可能症例の5年生存率は50%を上回るようになってきており、かつては切除できなかった症例も抗がん剤治療の進歩によって、根治的切除が期待できるようになってきています。肝がん、胆管がん領域も免疫治療の登場によって、これまでとは治療が様変わりしています。肝切除や膵頭十二指腸切除などの、もともと高侵襲な肝切除や膵頭十二指腸切除においても、低侵襲手術(ロボット手術、腹腔鏡手術)の導入は患者さんにとって大きな恩恵となります。難しい神経内分泌腫瘍や、判断に迷う膵臓の境界悪性腫瘍、IPMNについても積極的に診断、治療を行っております。当科は黄疸など早急な対応が必要なケースが多いため、平日毎日初診を受けており、緊急の場合でもお電話でご連絡いただければ対応いたします。早期症例から進行症例まで、ぜひご紹介ください。



小児科

高木 正稔先生

2024年9月に小児科の科長として着任いたしました。東京医科歯科大学病院小児科は原発性免疫不全症の診療患者数において、国内有数の施設です。このような伝統の下、2024年10月より東京科学大学病院として、新たなスタートを切ることになりました。これまでの伝統を守り、日本における免疫異常症診療の中心施設として、引き続き高度な先端医療を提供していくとともに、血液・腫瘍性疾患への細胞療法、造血細胞移植、膠原病・リウマチ性疾患、肺高血圧症、先天性心疾患に、難治性てんかん、脊髄性筋萎縮症、内分泌疾患、早産児のケア、腎疾患、血液浄化療法、アレルギー性疾患に対する食物負荷試験など幅広い領域において、最善の医療を提供してまいります。少子化の時代、小児医療に対する家族の期待も変化しつつあります。こうした期待に応え、地域の要望に合った一般診療も積極的に提供していきたいと思っておりますので、お気軽にご連絡をいただければと思います。



乳腺外科

有賀 智之先生

この度、東京科学大学乳腺外科教室において、2024年10月1日より新教授として着任いたしました。これを機に、当教室は乳癌治療においてさらなる飛躍を目指し、特に低侵襲治療や集学的治療に力を入れております。患者さんの身体的・精神的負担を軽減し、治療成績の向上を図るべく、最新の医療技術を積極的に導入しております。また、従来から行っている放射線科との専門的診断や、形成外科との乳房再建は継続しながら、さらに遺伝性乳癌診療や癌ゲノム医療など、個別化医療にも注力し、それぞれの患者さんに最適な治療法を提供いたします。地域の皆様により質の高い医療をご提供できるよう、当教室ではチーム医療を推進し、常に最新の治療を目指してまいります。乳癌診療に関するご相談や患者さんのご紹介を心よりお待ちしております。

